

うるま市のごみ処理経費・ごみ搬入量・資源化量等について

中部北環境施設組合に搬入された平成24年度のごみ量は、前年度と比較して微増しています。ここ数年概ね横ばいの状況にありますが、市民一人当たりのごみ処理に係る経費が多額であります。より一層うるま市が推進するごみ分別、リサイクルの取り組みを徹底し、ごみの減量化を図る必要があります。

○ごみ減量に向けた4R運動の取り組みにご協力をお願いします。

- ・リフューズのR・・・ごみになるものを断ろう
- ・リデュースのR・・・ごみを減らそう
- ・リユースのR・・・繰り返し使おう
- ・リサイクルのR・・・資源として活かそう



リサイクルリンちゃん

1. ごみ処理経費 * ()内の数値は平成23年度実績です。

経費区分	金額	市民1人当たり年間負担額	1世帯当たり年間負担額
ごみ収集運搬等諸経費	2億1,632万円	1,792円	4,634円
負担金	ごみ処理経費	12億1,474万円	26,019円
	最終処分費	2,084万円	446円
ごみ処理総事業費	14億5,190万円 (14億7,712万円)	12,029円 (12,354円)	31,099円 (32,309円)

2. ごみ搬入量

ごみの種類	平成23年度	平成24年度	前年度比較	市民1人当たり1日の排出量	1世帯当たり1日の排出量	
可燃ごみ	29,864 ^ト	30,316 ^ト	452 ^ト	688.1 ^{グラム}	1,779.1 ^{グラム}	
不燃ごみ	502 ^ト	544 ^ト	42 ^ト	12.3 ^{グラム}	31.9 ^{グラム}	
粗大ごみ	325 ^ト	431 ^ト	106 ^ト	9.8 ^{グラム}	25.3 ^{グラム}	
資源ごみ	缶類	233 ^ト	276 ^ト	43 ^ト	6.3 ^{グラム}	16.2 ^{グラム}
	びん類	910 ^ト	899 ^ト	-11 ^ト	20.4 ^{グラム}	52.8 ^{グラム}
	ペットボトル	270 ^ト	285 ^ト	15 ^ト	6.5 ^{グラム}	16.7 ^{グラム}
	古紙類	376 ^ト	360 ^ト	-16 ^ト	8.2 ^{グラム}	21.1 ^{グラム}
合計	32,480^ト	33,111^ト	631^ト	751.6^{グラム}	1,943.1^{グラム}	

3. 資源化量

種類	平成23年度	平成24年度	前年度比較
缶類	207 ^ト	235 ^ト	28 ^ト
金属類	200 ^ト	226 ^ト	26 ^ト
びん類	872 ^ト	866 ^ト	-6 ^ト
ペットボトル	245 ^ト	245 ^ト	0 ^ト
古紙類	321 ^ト	308 ^ト	-13 ^ト
蛍光管	21 ^ト	24 ^ト	3 ^ト
乾電池	23 ^ト	25 ^ト	2 ^ト
スラグ	2,031 ^ト	2,121 ^ト	90 ^ト
メタル	12 ^ト	0 ^ト	-12 ^ト
合計	3,932^ト	4,050^ト	118^ト

*平成25年1月末の人口120,696人、世帯数46,686世帯、平成24年1月末の人口119,557人、世帯数45,719世帯です。

*端数処理をしている為、数値が一致しない場合があります。

*資源化量の金属類は、不燃ごみ・粗大ごみから破碎・分別して出てきたものです。

*資源ごみ搬入量と、資源化量の数値の違いは、手選別作業による異物除去のためです。

4. 最終処分量

種類	平成23年度	平成24年度	前年度比較
飛灰	1067 ^ト	1042 ^ト	-25 ^ト

*負担金とは、ごみ処理事業を行う為に必要な経費をうるま市から中部北環境施設組合にあてる、ごみ処理経費です。

リサイクル工房の利用について募集

組合のリサイクル工房内にあるパッチワーク工房を利用してみませんか。下記の条件等で募集します。

- うるま市及び恩納村の住民で構成する団体(任意で可)に限ります。
- 販売・営利を目的とした利用は出来ません。
- そのほか利用方法については、組合の指示に従うこと。

【活用例】資源ごみで回収された衣類を活用し、パッチワーク、マイバックや布草履作り、衣服のリフォーム等々

*詳細については、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ：中部北環境施設組合 ☎972-6619